

なぜ、人は学び続けるのか

本市では、平成24年（2012）7月に「羽村市生涯学習基本条例」を制定しました。その後、生涯学習施策を総合的・計画的に推進することにより、**生涯学習社会の実現**を目指しています。

ところで、人はなぜ学び続けるのでしょうか。この根源的な問いを前にして脳裏に浮かぶのは、「**自己実現**」という用語です。

私は、「自己実現」を「**自分の可能性を發揮しながら生きること**」であると捉えています。自分の可能性を發揮し続けるには、**人生の折々に自ら選択・決定した学びを続けていく**ことが重要です。いわゆる「**主体的な学び**」の**継続**です。

「主体的な学び」は、学習者が学ぶべき内容や方法を自分で決めます。思うようにいかないことが生じるため、**試行錯誤は付き物**です。

常に学ぶことに関心・意欲をもち、自分のキャリア形成と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学びを調整しながら次の学びへとつなげていく。こうした学びを支えるのが「**自尊感情**」であり、必要となるのが自らの学びを客観的に把握して認識する、いわゆる「**メタ認知**」に関わる力です。

全ての小・中学校で進めている「**はむらの授業指針**」に基づく**授業づくり**。その営みは、**生涯学び続ける基盤づくり**であることを、改めて認識したいものです。



充実した人生

ノーベル生理学・医学賞受賞者・北里大学特別荣誉教授・女子美術大学名誉理事長 大村 智
朝は希望に起き 昼は努力に生き 夜は感謝に眠る

出典：「人をつくる言葉」（大村 智著 毎日新聞出版社）

※ 「希望」「努力」「感謝」の三つを回していける日々を送りたいと願います。